

2007年11月5日

報道関係 各位

アボット ジャパン株式会社
マルホ株式会社
日東電工株式会社

**世界で初めての貼付型の長時間作用性気管支拡張剤
「ホクナリン®テープ」(ツロブテロール貼付剤)のライナー*(はがす側)に
「テープのはがし方のイラスト」を表記**

この度、アボット ジャパン株式会社(医薬品事業部本社:大阪府、代表取締役社長:グレン・エス・ワーナー)と日東電工株式会社(本社:大阪府、取締役社長:竹本正道)が共同開発し、アボット ジャパン株式会社とマルホ株式会社(本社:大阪府、代表取締役社長:高木幸一)が共同販売している、気管支喘息およびCOPD(Chronic Obstructive Pulmonary Disease:慢性閉塞性肺疾患)治療のための貼付型の長時間作用性 β_2 刺激薬「ホクナリン®テープ」(一般名:ツロブテロール)のライナー(はがす側)面に、「テープのはがし方のイラスト」および「はがす」という文字を表記いたしましたのでご連絡申し上げます。(写真参照)

現在、ホクナリン®テープのライナーには「ライナー」とのみ表示されており、患者さんから「ライナーの意味が理解しにくい」「はがす面がどちらか分からない」などの声をいただいております。

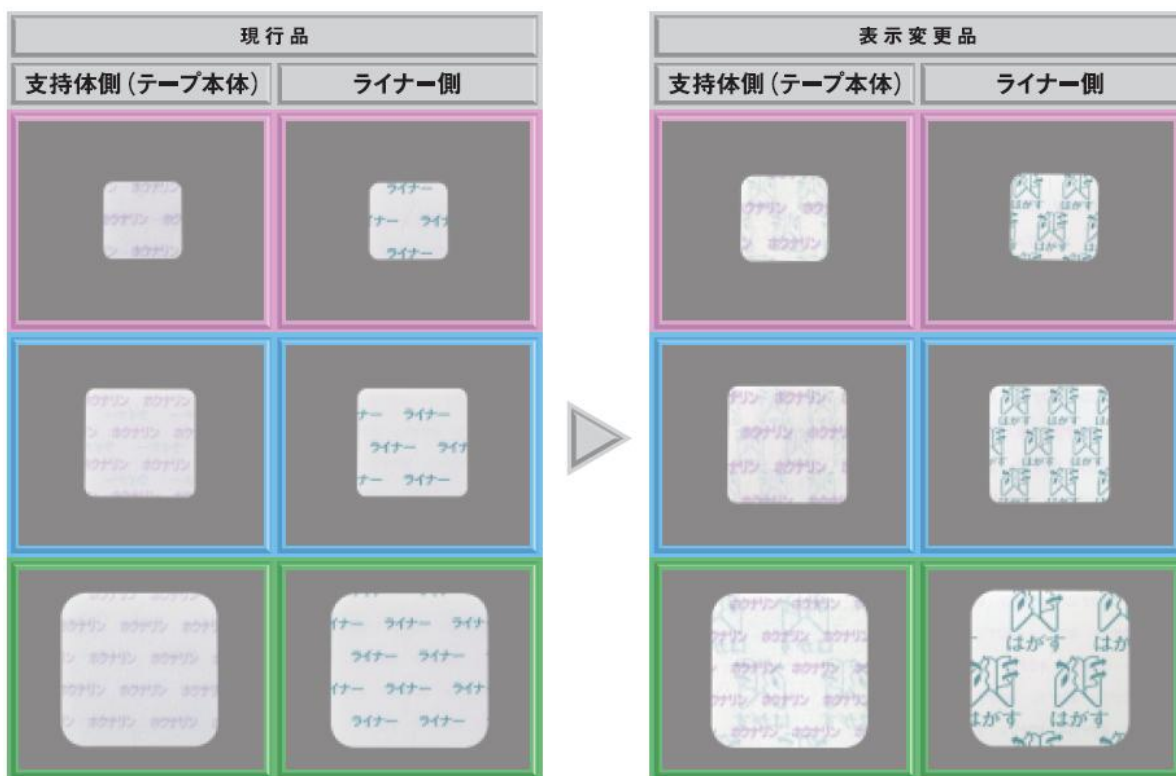
そこで、この度、アボット ジャパン株式会社、マルホ株式会社および日東電工株式会社は、ライナーの「ライナー」の文字の代わりに「はがし方のイラスト」と「はがす」という3文字を入れました。これは、患者さんに「はがす面の認識をしやすくし、「はがす方法をわかりやすくする」ことを目的としており、ご高齢の患者さんでも容易に認識していただけます。

《メリット》

- ① 「はがし方のイラスト」と「はがす」の3文字によりテープを貼る際にはがす面(貼る面の裏側)が分かりやすい。
- ② テープのはがし方をイラスト表示にすることにより、ご高齢の患者さんも分かりやすい。

アボット ジャパン株式会社、マルホ株式会社および日東電工株式会社では、今回の改良がホクナリン®テープを使用されている患者さんや医療関係者のお役に立つことを期待しております。それと同時に、今後とも患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、お役に立てる改良を続けていきたいと考えております。

製品写真



表示変更に伴う患者さんへのご案内方法

- ① 医師や薬剤師等の医療関係者から患者さんへの表示変更の案内として、「お知らせシート」を製品に添付いたします。
- ② 医療関係者から患者さんへの説明用の「新旧表示比較表」を薬剤師や医師等に配布いたします。
- ③ 医療関係者から患者さんへお渡しする「ホクナリン®テープ使用の貼り方指導箋」のホクナリン®テープの絵図を「イラスト」および「はがす」の文字の入ったものに変更いたします。

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

○アボット ジャパン株式会社

医薬品事業部 広報担当

フライシュマン・ヒラード

担当：尾股・永田

TEL：03-3524-4627

○マルホ株式会社

広報部

TEL：06-6371-8831

○日東電工株式会社

広報・IR・ブランド戦略部

TEL：06-6452-2215

なお、このプレスリリースは、重工業研究会、本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、大阪化学工業記者クラブ、道修町薬業記者クラブ、大阪機械記者クラブにも配付いたしております。重複のむきございましたら、予めご容赦の程お願い申し上げます。

<参考資料>

○「ホクナリン[®]テープ」について

ホクナリン[®]テープとは、日東電工株式会社とアボット ジャパン株式会社(但し、開発及び発売当時の名称は北陸製薬株式会社)により共同開発された世界で初めての貼付型の長時間作用性 β_2 刺激薬であり、1998年12月にマルホ株式会社とアボット ジャパン株式会社により共同発売されました。有効成分はツロブテロールで、当該有効成分は北陸製薬株式会社で開発されたものです。本製剤の作用持続時間は24時間です。承認の効能・効果は「気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解」で、1日1回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付します。ホクナリン[®]テープは、1998年度科学技術庁長官賞、2001年度創薬科学賞を受賞し、喘息ガイドラインおよびCOPD(慢性閉塞性肺疾患)に、長時間作用性気管支拡張剤として記載されています。

○「アボット社」について

米国イリノイ州シカゴに本拠を置くアボットは、広範囲のヘルスケアに基盤を置く世界的規模の会社であり、グループ総従業員数 65,000人を擁し、世界130カ国で営業活動を行っています。その事業内容は新薬の研究・開発に加え、医療用医薬品、栄養剤、医療用機械器具、医療用計測器、診断薬の分野における研究、開発、製造、マーケティングそして販売、と多岐にわたっています。日本国内では従業員数2,100人、医療用医薬品、栄養剤、医療用機械器具、医療用計測器、診断薬の製造及び開発、ならびに販売とマーケティングを行っており、東京、大阪、福井、千葉に拠点を置いています。

○「マルホ株式会社」について

企業使命に「人類の健康に対して質の高い貢献を行うこと」を掲げ、皮膚科外用剤の国内生産トップレベルの製薬会社。皮膚疾患領域と医療用外用剤において、独自の外用剤技術や皮膚科領域における学術活動により、皮膚保湿剤をはじめとした皮膚科学関連医薬品を製造販売しています。本社は大阪市に置き、従業員は約900名、営業体制は全国を10支店・52営業所により網羅しています。また、京都市に研究開発、彦根市に生産の各拠点を置いております。

○「日東電工株式会社」について

日東電工は世界市場に様々な高機能製品を供給し、幅広い産業活動を支えています。固有の高分子合成・粘着加工技術をベースに各種の先端技術を複合化することにより、液晶用光学フィルムや自動車関連材料及び経皮吸収型テープ製剤など優れた機能を持つ製品を数多く生み出しています。同社は本社を大阪市に置き、グループ従業員で約 27,000 人、また 100 社を超えるグループ会社を有し、世界市場に製品を提供しています。